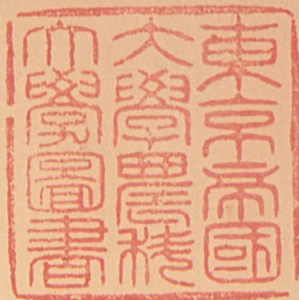


安永七年歲次戊戌五月 藤貞幹



あきなりふに東國よりてはさ
中々細紙と地とを以てはさ
陰陽精霊とるにりて名残や
境にえりともふと紙とを
幾なりともいふとけいとい
りさふふともはさるるの
賢哲なりかきあきうに
牛を著意とるにふふの
王侯将相これとていふ
これ紙のむによりて五
京洛よりわい海難事
そのうらば肉の骨に
あきなりふともふと
りふふとむいんとも
くこのふれ紙とる
いふより見のむ
あやま事なるは
いふあきなりふ
あきなりふに
のゆにふとも
あきなりふとも

